



「日本語学習支援者になるための オンライン講座」全5回

【概要】

開催日時：
令和2年11月8日、15日、22日、
12月6日、13日（全5回）
13：00～16：00
（初回のみ16：30まで）

講師：

式部 絢子 氏
北海道大学・北海道教育大学
非常勤講師、秩父別町多文化交
流コーディネーター
第1・5回担当

大井 裕子 氏
（一社）北海道日本語センター
理事、札幌大学・北星学園大学
非常勤講師 日本語ボラン
ティアグループ「窓」所属
第2・4回担当

阿部 仁美 氏
（一社）北海道日本語センター
理事、北海道大学・札幌市立大
学非常勤講師 日本語ボラン
ティアグループ「J.WORK
S」所属
第3回担当

主催（公財）札幌国際プラザ

令和2年11月8日から12月13日まで「日本語学習支援者になるためのオンライン講座」全5回を行い、51名が参加しました。

日本語学習支援や外国人との交流には外国語の知識が必要であると思われることもありますが、札幌に住む外国人の多くは英語話者ではなく、最も通じやすい言語は日本語です。その日本語を学習する外国人にどのように支援していくのか、そのために必要な知識や姿勢がどういったものかを、全5回の講座で学びました。

外国人の学習支援には、必ずしも日本語教授法や文法の知識は必要ではなく、むしろ、相手の話を傾聴すること、話すのを待つ姿勢が大切であることを学びました。また、外国人を〇〇人の〇〇さんではなく、一個人としてとらえ相手を知ること、理解しようとするのが何よりも大切な姿勢であり、それこそが多文化共生の基礎となるものであることを教わりました。

受講者は、単に講師の話を聞くのではなく、受講者同士がグループで話し合い、異なる意見を持つ人に耳を傾けること、協働することを学びました。オンラインで話すこと自体が新しい経験の人もいましたが、グループワークを通して、徐々に参加者同士が打ち解けていった姿は非常に印象的でした。

5回目の講座では、実際に札幌に住む外国人住民とのトークセッションが行われ、互いに貴重な交流の機会となりました。外国人参加者からは、「普段、研究室に閉じこもりほとんど日本語で話すことがないので貴重な機会だった。」「日本語で会話ができて嬉しかった。」などの声が聞かれました。

講座終了時には、「せっかく学んだのだから実際に学習支援のお手伝いがしたい。」と多くの意見が寄せられました。

これからも当財団は、札幌市の多文化共生の実現に欠かせない「日本語教育」を進めるために、ボランティアの育成及び関係機関との協力の強化に努め、このような活動に力を入れて参ります。



講師の式部先生



講師の大井先生



講師の阿部先生



オンライン講座の様子

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ http://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/